

施設の概要

ごみ処理施設

1 はだのクリーンセンター

所在地 秦野市曾屋4624番地
敷地面積 35,989.34㎡ (登記地積)

はだのクリーンセンターは、秦野市及び伊勢原市から排出された可燃ごみ（燃やすごみ）を200t/日（100t/日炉×2基）の焼却施設で燃やして処理しています。焼却の際に発生した熱を回収して、施設内の給湯や最大3,820キロワットの発電に利用しています。発電した電力は、施設内すべての電気を賄い、余った電気は電力会社に売電しています。さらに、余熱エネルギーを有効活用し、隣接地にある秦野市の公共施設「名水はだの富士見の湯」へ温水の熱源として供給しています。

また、煙突から排出される排ガスについては、成分ごとに法令基準値よりも厳しい自主規制値を設け、その状況を正門横に設置した電光表示盤により、誰もがいつでも確認できるようにしています。

施設の運転や維持管理の業務は、包括的な委託により行っています。

施設整備状況

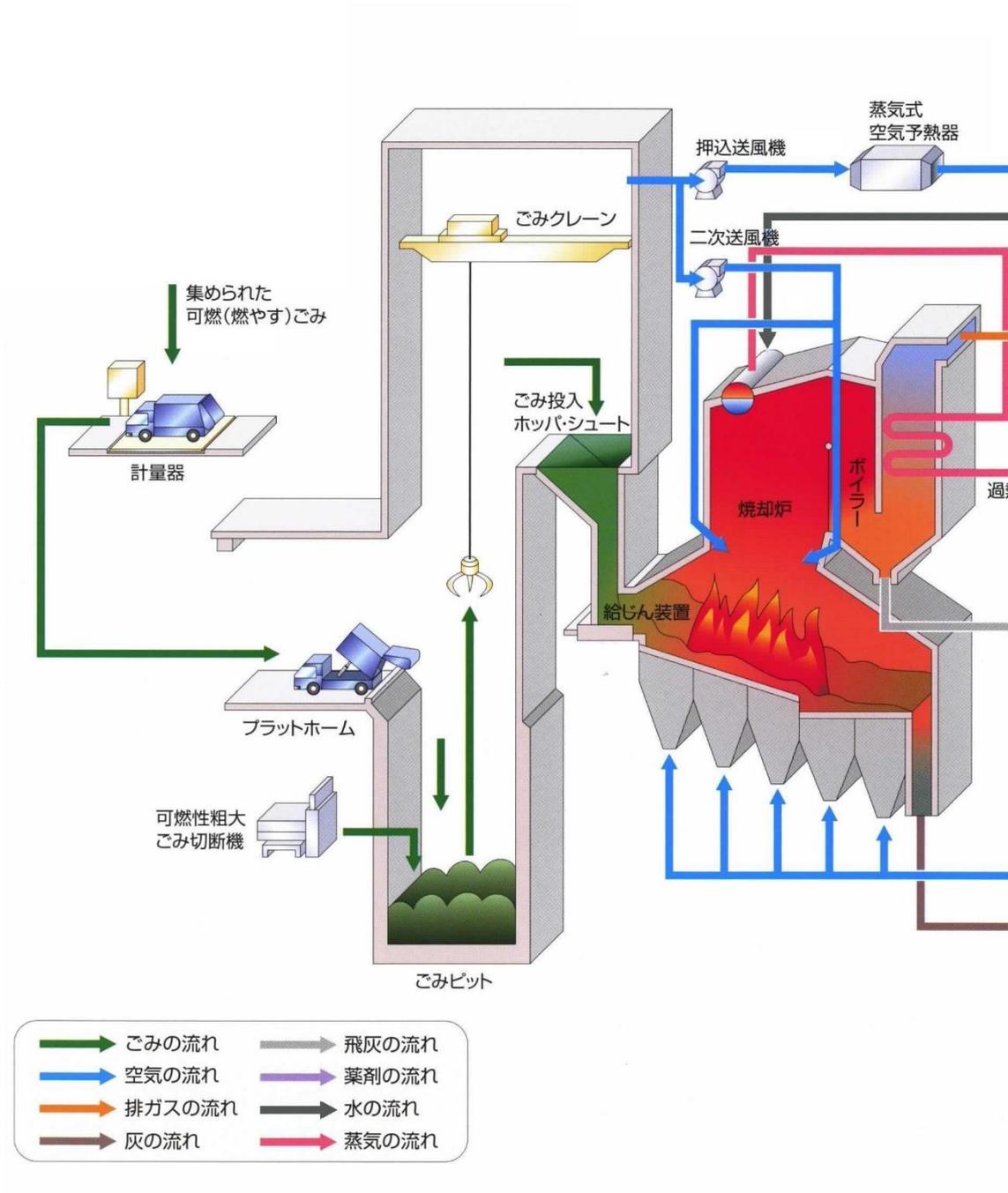
規模	型式	事業費(千円)	整備内容	建設年月日	設計・施工
200t/日	ストーカ式 (連続炉)	9,406,551	<ul style="list-style-type: none"> ・鉄骨鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造、一部鉄筋コンクリート造 ・地上6階地下2階 ・延床面積12,339.76m² ・ごみピット容量8,140m³ ・可燃性粗大ごみ切断機(2基) ・蒸気タービン発電設備(発電出力3,820kW) 	H22.2.26～ H25.1.30	日立造船(株)

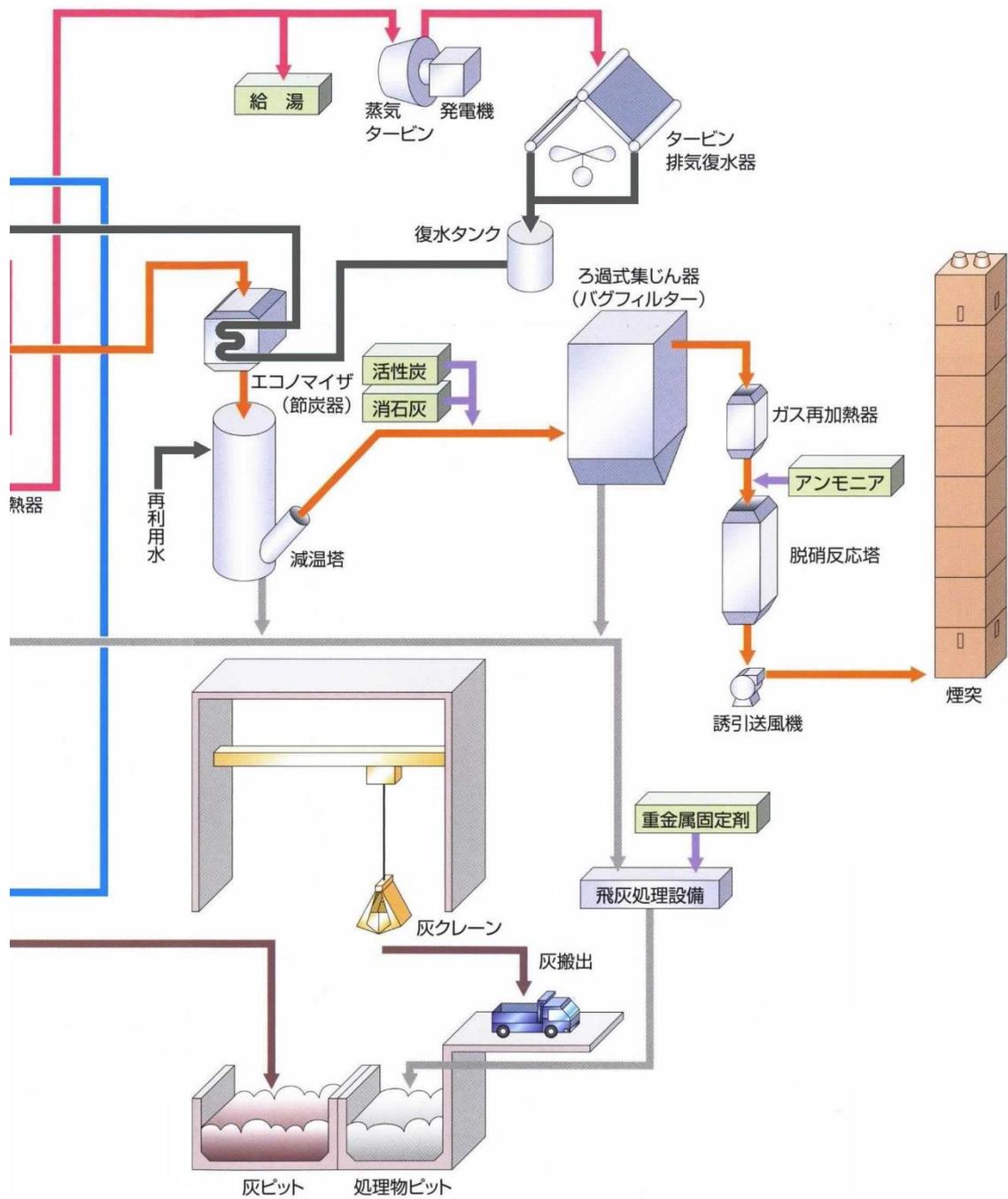
はだのクリーンセンター

電光表示盤



はだのクリーンセンターでのごみ処理フローシート





はだのクリーンセンター 位置図



はだのクリーンセンター 施設配置図



2 伊勢原清掃工場

所在地 伊勢原市三ノ宮1918番地

敷地面積 20,659.86㎡ (登記地積)

(1) 90t/日焼却施設

伊勢原清掃工場の90t/日焼却施設では、伊勢原市などから排出された可燃ごみ(燃やすごみ)を焼却処理しています。

平成12年度にダイオキシン類削減対策を実施し、排ガス高度処理及び灰固形化施設の整備を行いました。それまで、ダイオキシン類を捕集していた電気集じん器を、より性能の高いバグフィルター(ろ過式集じん器)に改造しました。

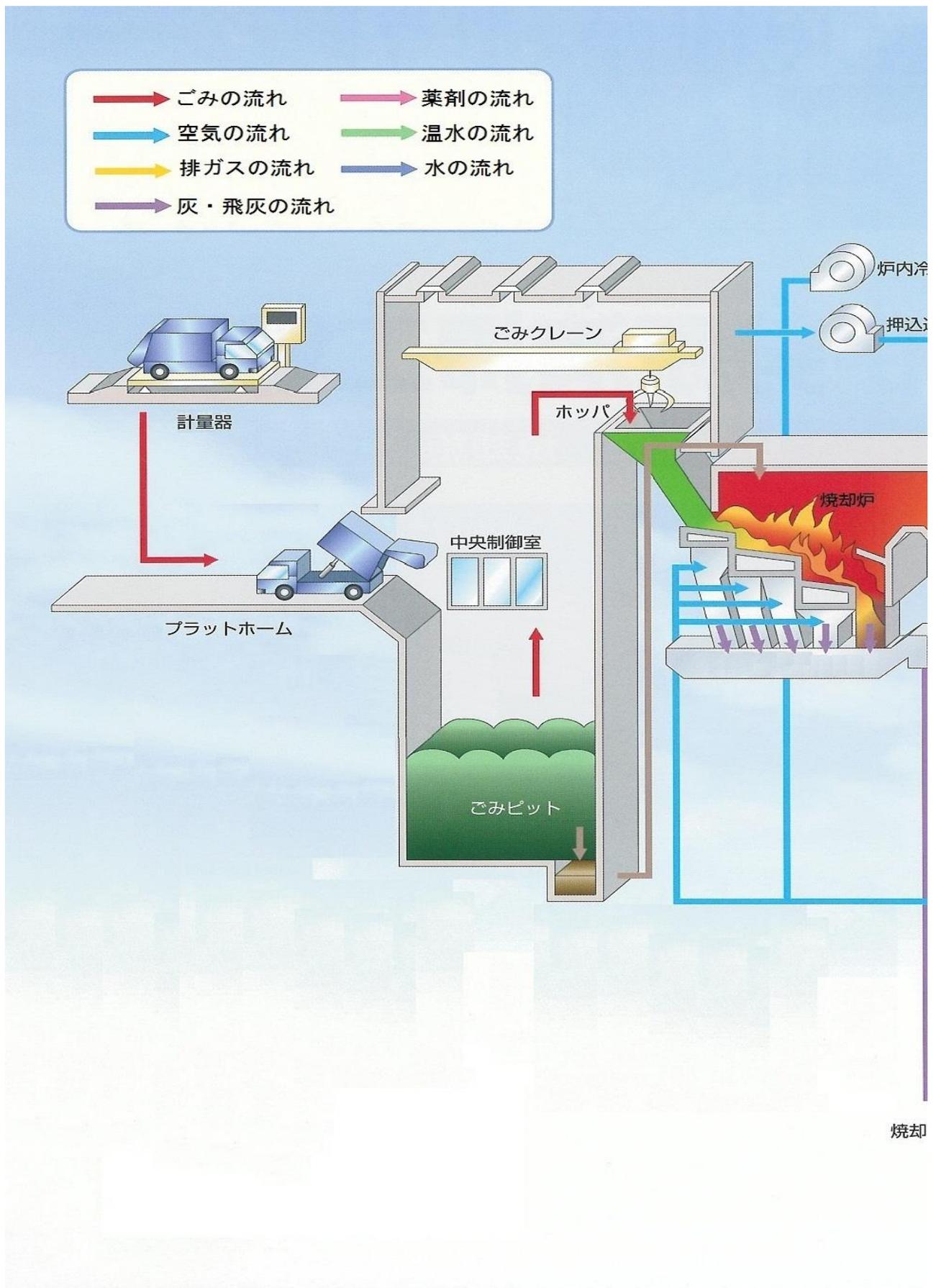
施設の運転や維持管理については、本組合の職員による直営で行っています。

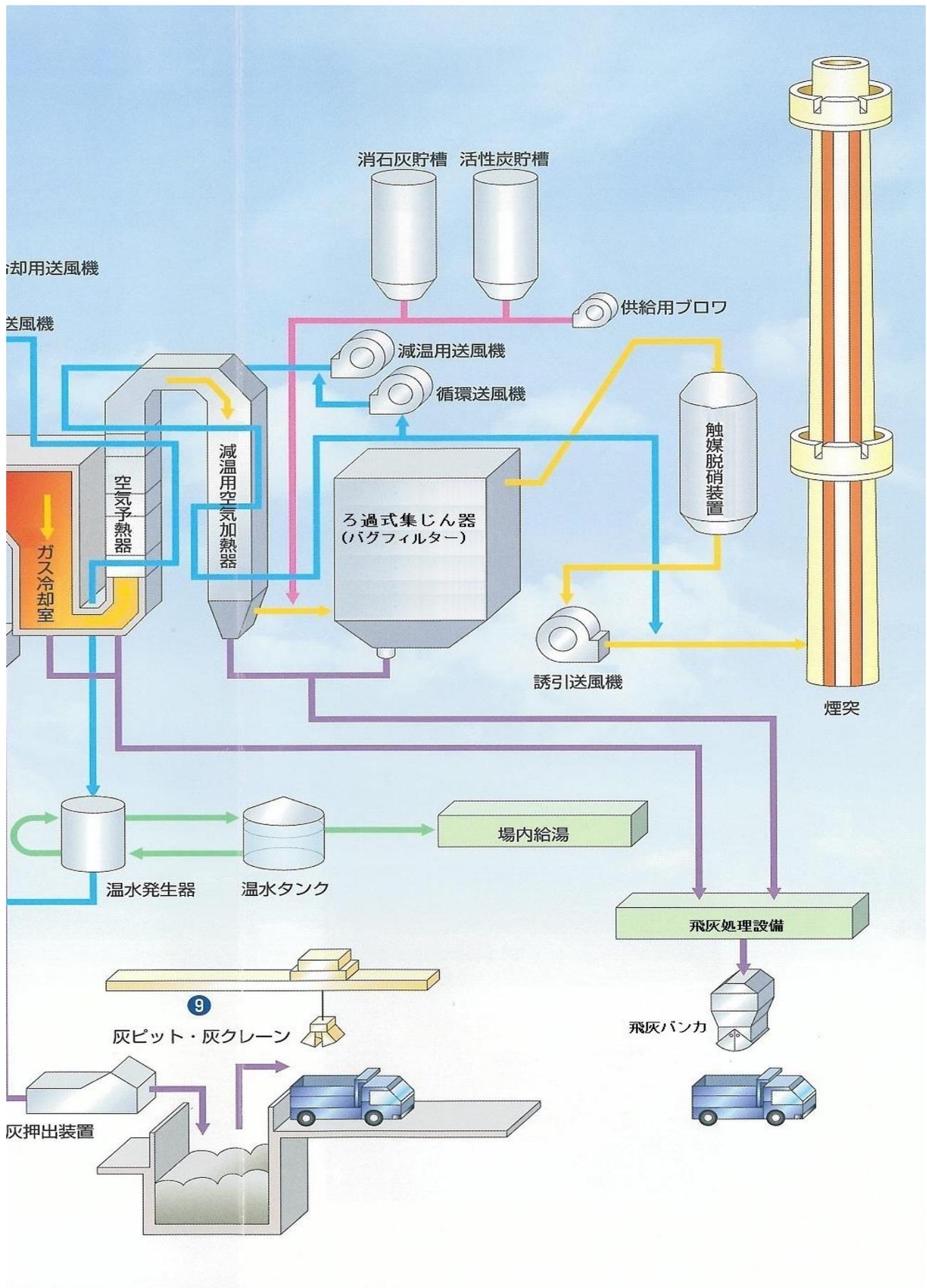
施設整備状況

規模	型式	事業費(千円)	整備内容	建設年月日	施工業者
90t/日	ストーカ式 (連続炉)	1,837,916	鉄筋コンクリート造 4階建 延2,614.57㎡ ごみピット 870㎡ 可燃性粗大ごみ破碎設備(休止)	S58.2.21) S60.10.31	日立造船株 (機械設備) 奥村・中村建設 共同企業体 (土木・建築)
		整備工事 1,491,000	排ガス高度処理及び灰固形化施設整備 (ダイオキシン類削減対策) 電気集じん器をバグフィルタに改造等	H12.5.30) H13.3.30	日立造船株

90t/日焼却施設







(2) 粗大ごみ処理施設

伊勢原清掃工場の粗大ごみ処理施設では、秦野市及び伊勢原市から排出された不燃ごみ（不燃物）や粗大ごみを選別し、破碎処理しています。

選別工程において分別された可燃性のものについては、はだのクリーンセンターや伊勢原清掃工場90トン焼却施設で焼却処理し、不燃性のものについては、さらに非鉄類を取り除き、破碎処理等を経て、磁石選別機により鉄類と不燃物残渣に仕分けしています。

分けられた鉄類や非鉄類は売却し、不燃物残渣は資源化等による最終処分をしています。

なお、水銀等の有害物質を含む乾電池や蛍光灯などは、一時保管後、専門事業者による適正な処理により、資源化等をしています。

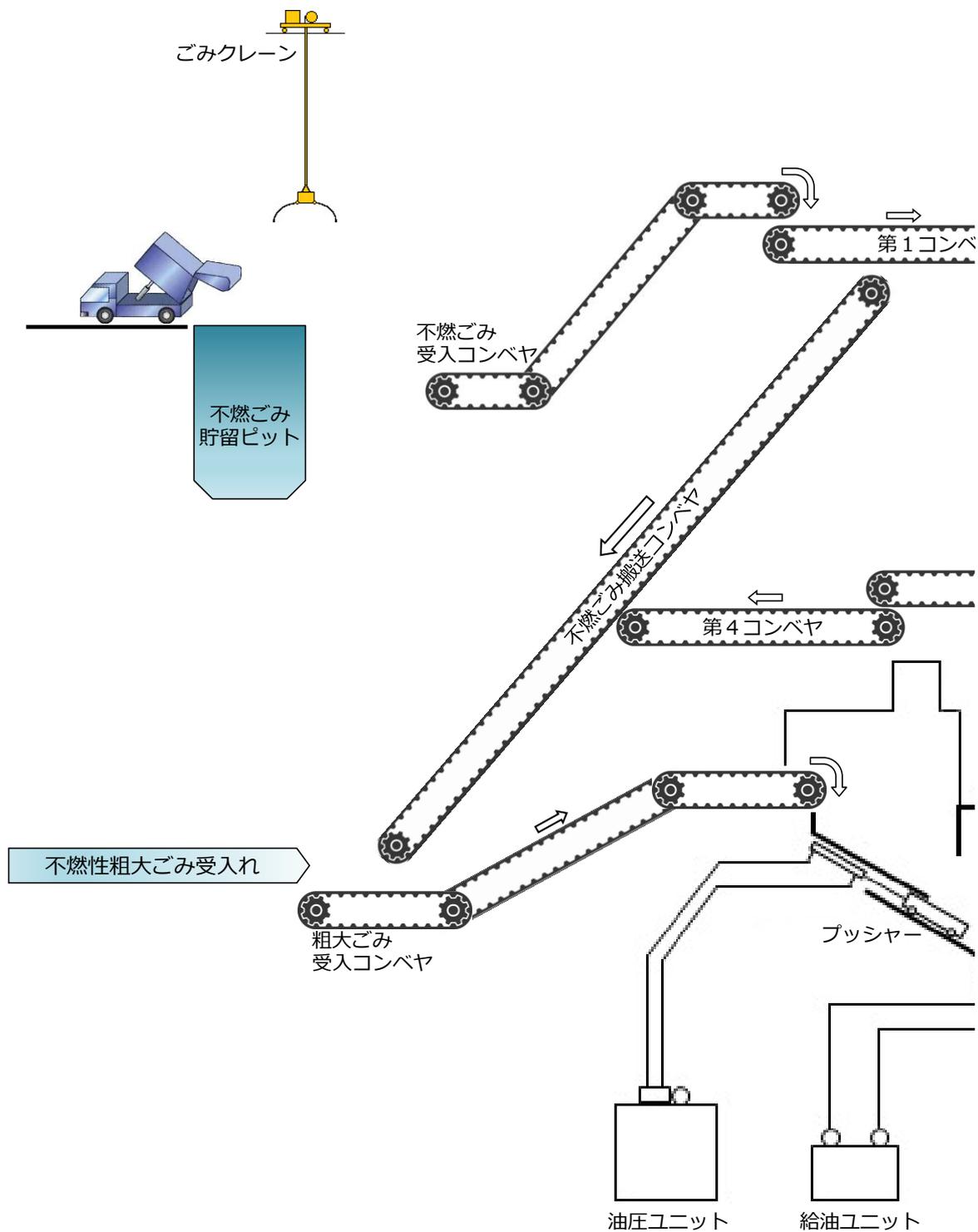
施設整備状況

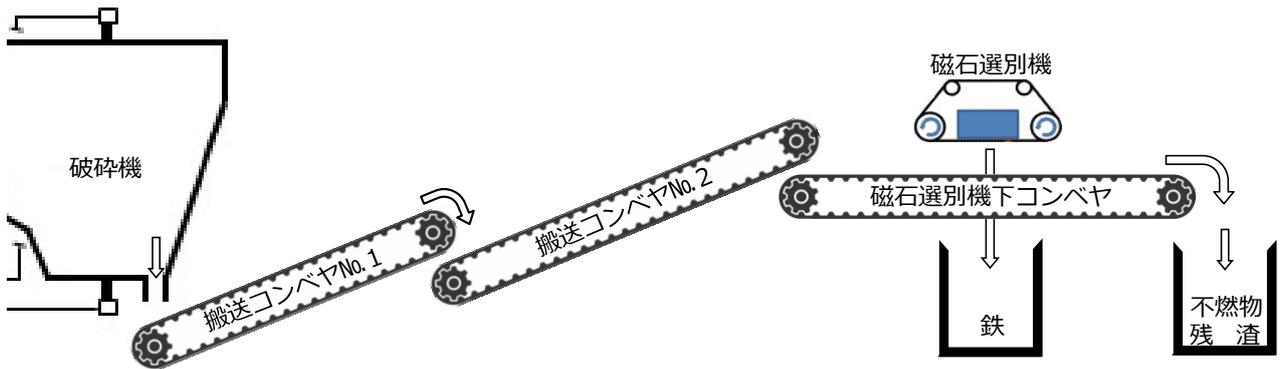
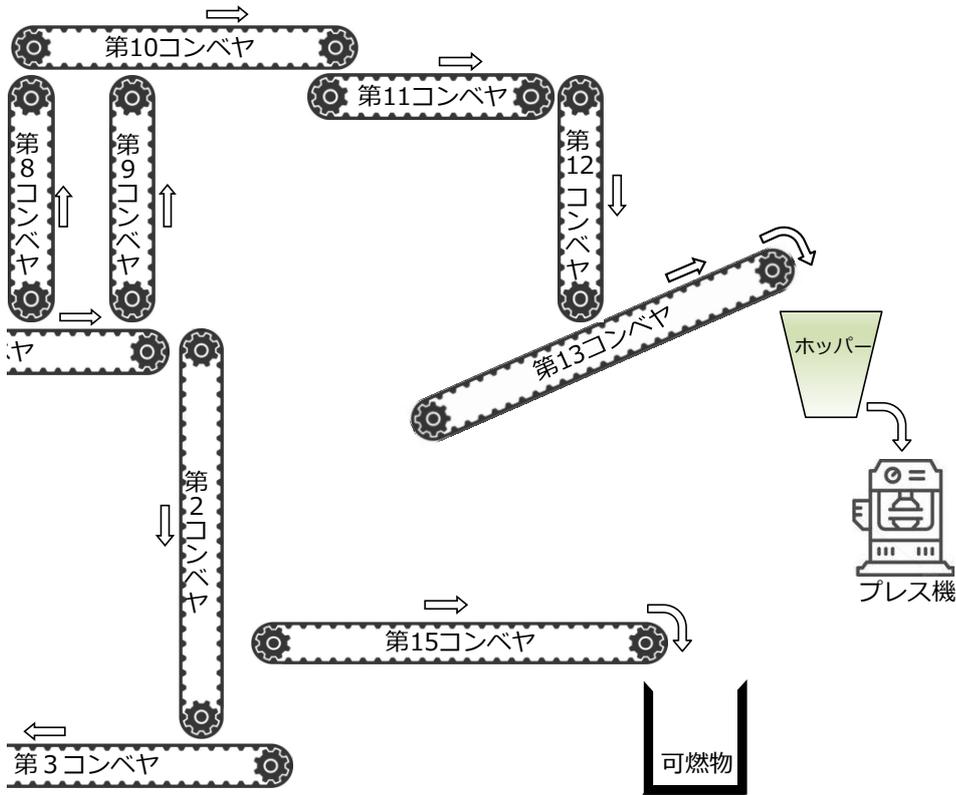
能力	事業費(千円)	整備内容	建設年月日	施工業者
圧縮設備：12t/5h 併用設備：30t/5h コンベア選別設備 ：8-10t/5h	236,488	鉄骨造 延721.1m ² (平成7年の増築工事含む) 主要設備 受入供給設備 破碎機 受入等コンベア設備 磁選機等機械設備	S62.6.26 } S63.3.20	(株)ジーエス

粗大ごみ処理施設

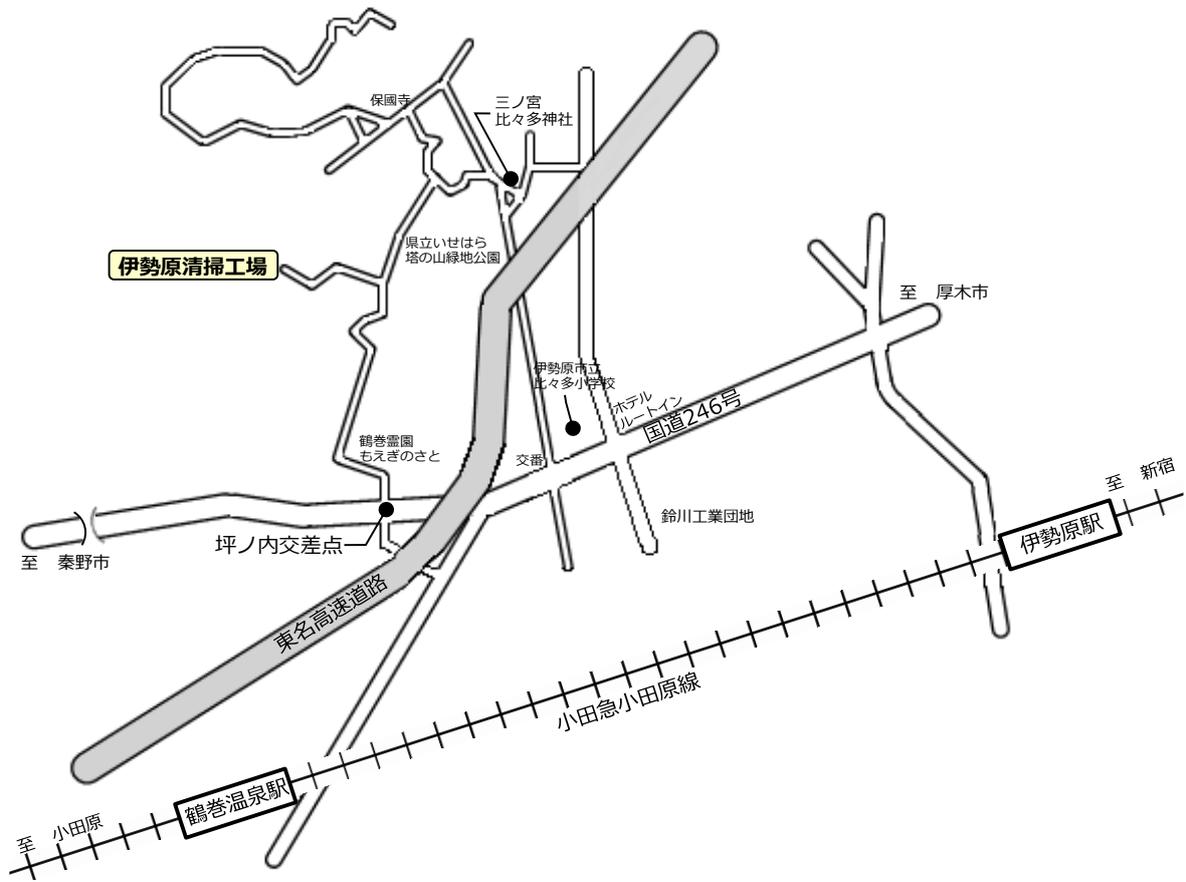


粗大ごみ処理施設でのごみ処理フローシート

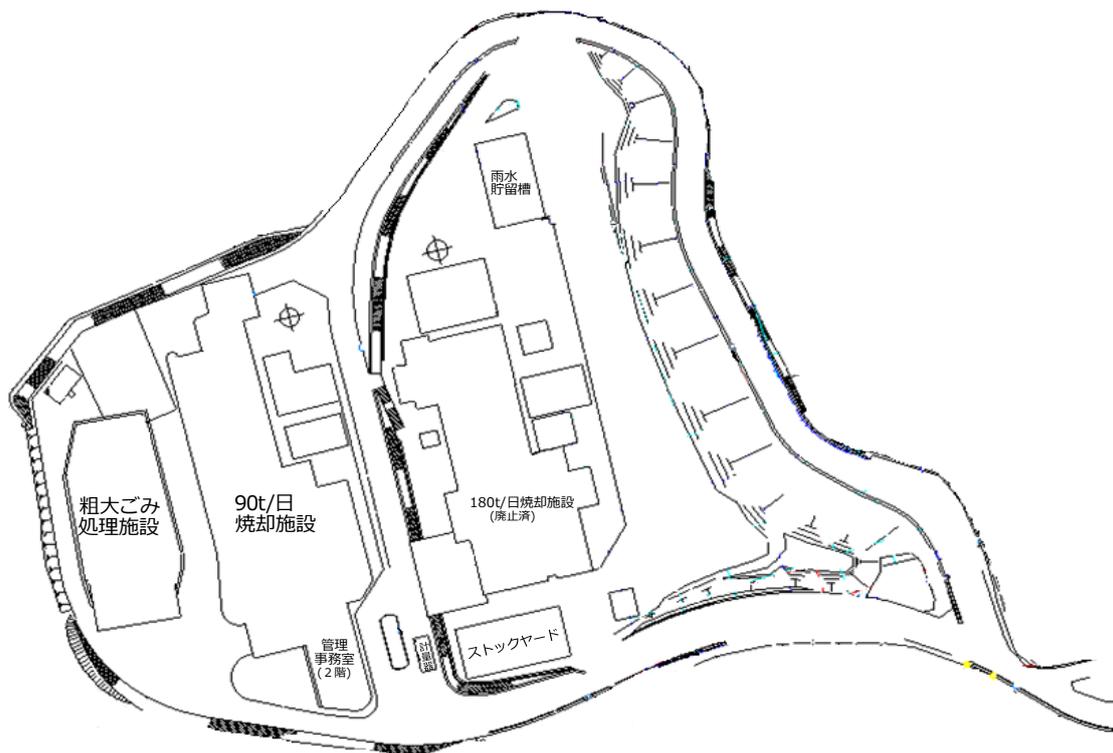




伊勢原清掃工場 位置図



伊勢原清掃工場 施設配置図



3 栗原一般廃棄物最終処分場

所在地 伊勢原市三ノ宮2854番地

敷地面積 24,370.69㎡

栗原一般廃棄物最終処分場では、はだのクリーンセンター及び伊勢原清掃工場90トン焼却施設で可燃ごみの焼却処理後に生じた焼却灰を埋立処分しています。

埋立終了期限は令和5年度となっており、令和元年度末時点で全体容量の9割弱までの埋め立てが完了しています。残すところ4年程度となりましたが、引き続き、適正かつ計画的に施設の維持管理や埋立処分を行っていきます。

施設整備状況

建設工事	事業費(千円)	整備内容	建設年月日	施工業者
第一期	644,297	遮水工：合成ゴム＋軟質塩化ビニール 堰堤工：鋼矢板二重締切堰堤 排水管：浸出水排水管等 調整槽：屋内型400m ³ 水処理：凝集沈殿20m ³ /日	H4.1.22) H5.3.25	鹿島建設(株) 横浜支店
第二期	1,417,500	遮水工：合成ゴム＋軟質塩化ビニール 堰堤工：鉄筋コンクリート箱型及び逆T字擁壁 排水管：浸出水排水管等 調整槽：屋内型1,400m ³ 水処理：凝集沈殿50m ³ /日	H9.8.25) H11.3.19	鹿島・中村・長島特定建設工事共同企業体

※ 用地は伊勢原市から借地

埋立面積及び容量

	面積	容量
一期分	4,700m ²	25,500m ³
二期分	12,060m ²	107,000m ³
変更届出分	—	42,500m ³
全体計画	16,760m ²	175,000m ³

埋立開始年月 平成5年5月

埋立構造・方式 準好気性埋立・セル方式

栗原一般廃棄物最終処分場

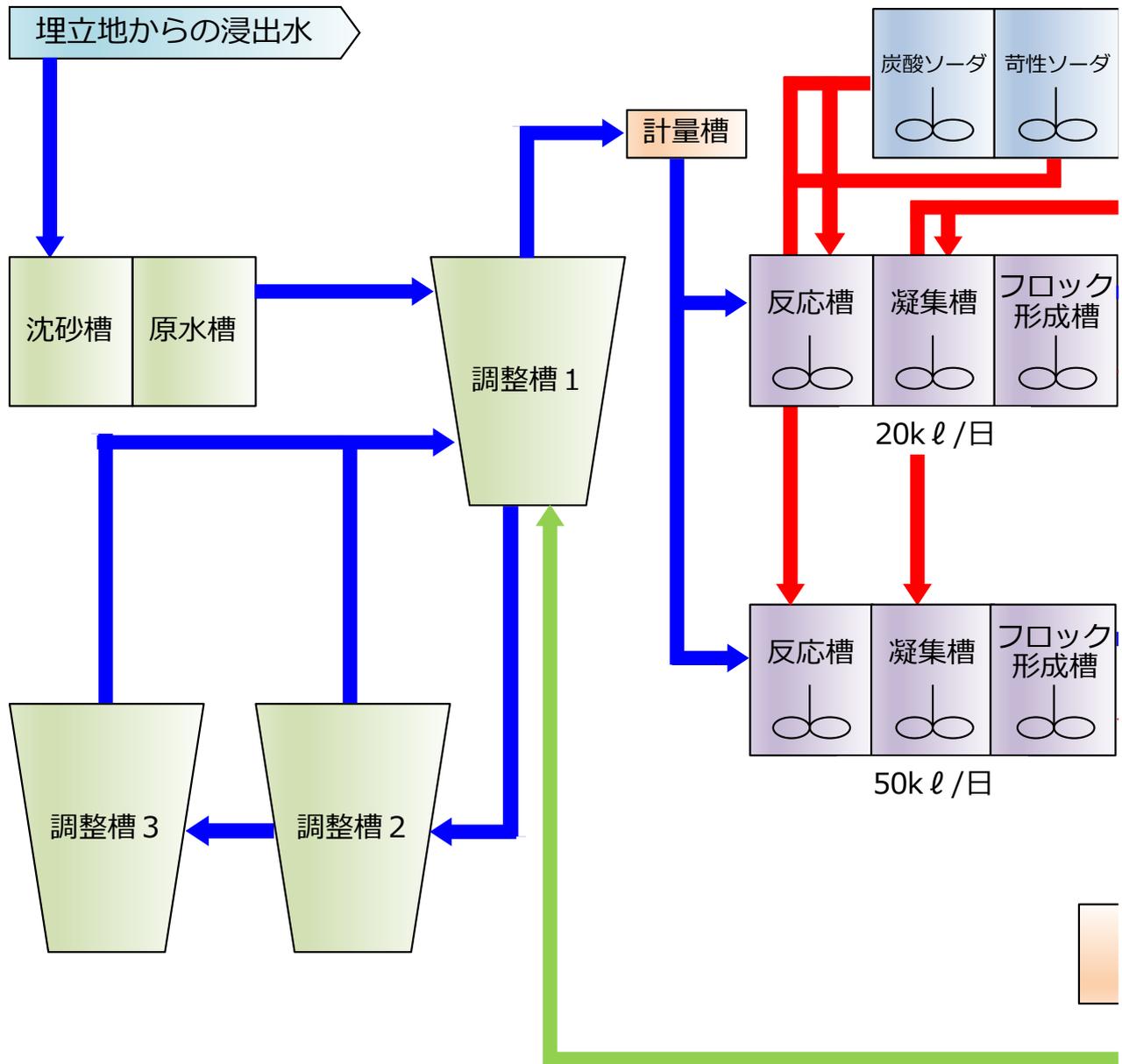
浸出水処理施設



埋立地



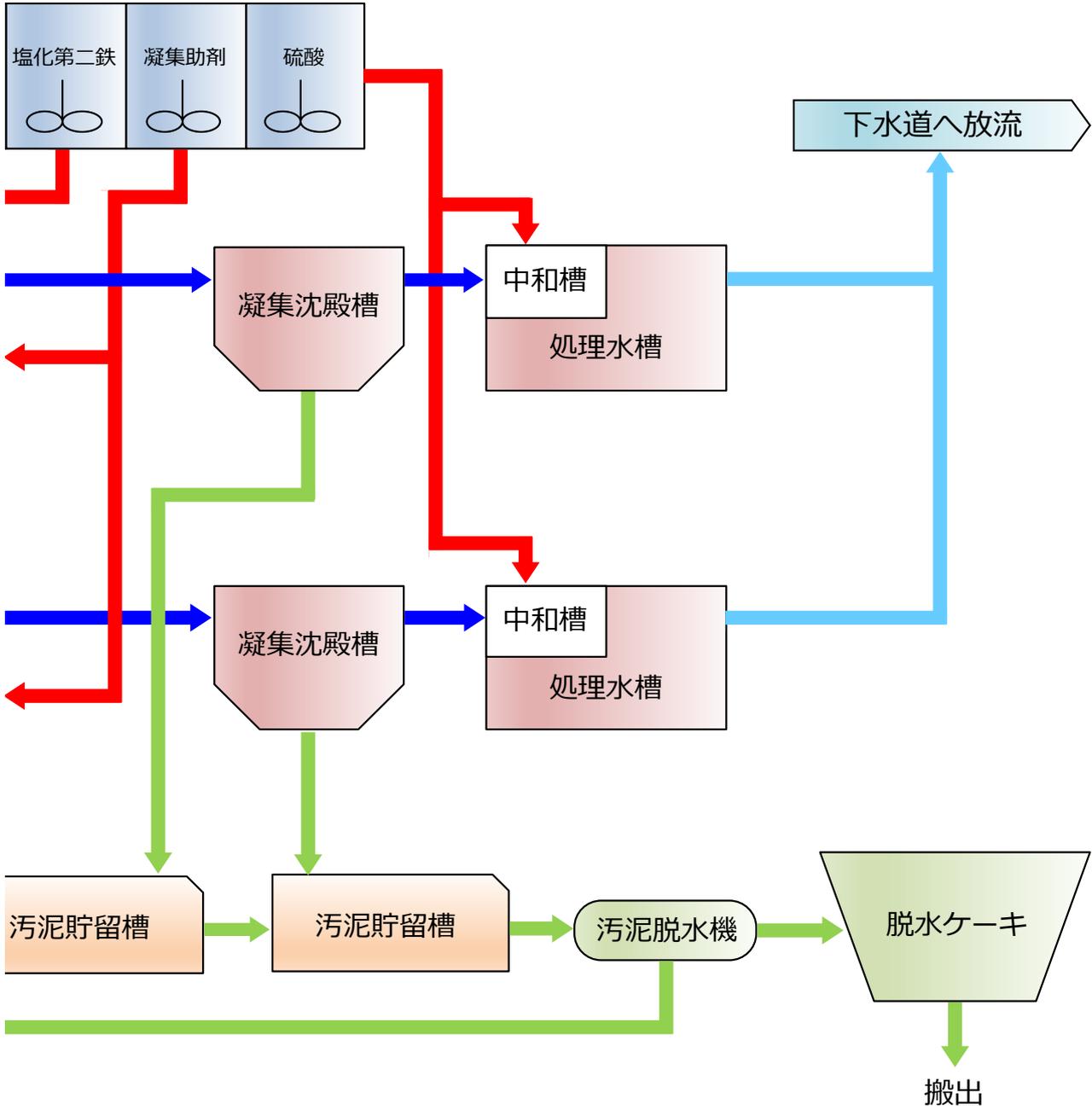
栗原一般廃棄物最終処分場における浸出水処理施設での水処理フローシート



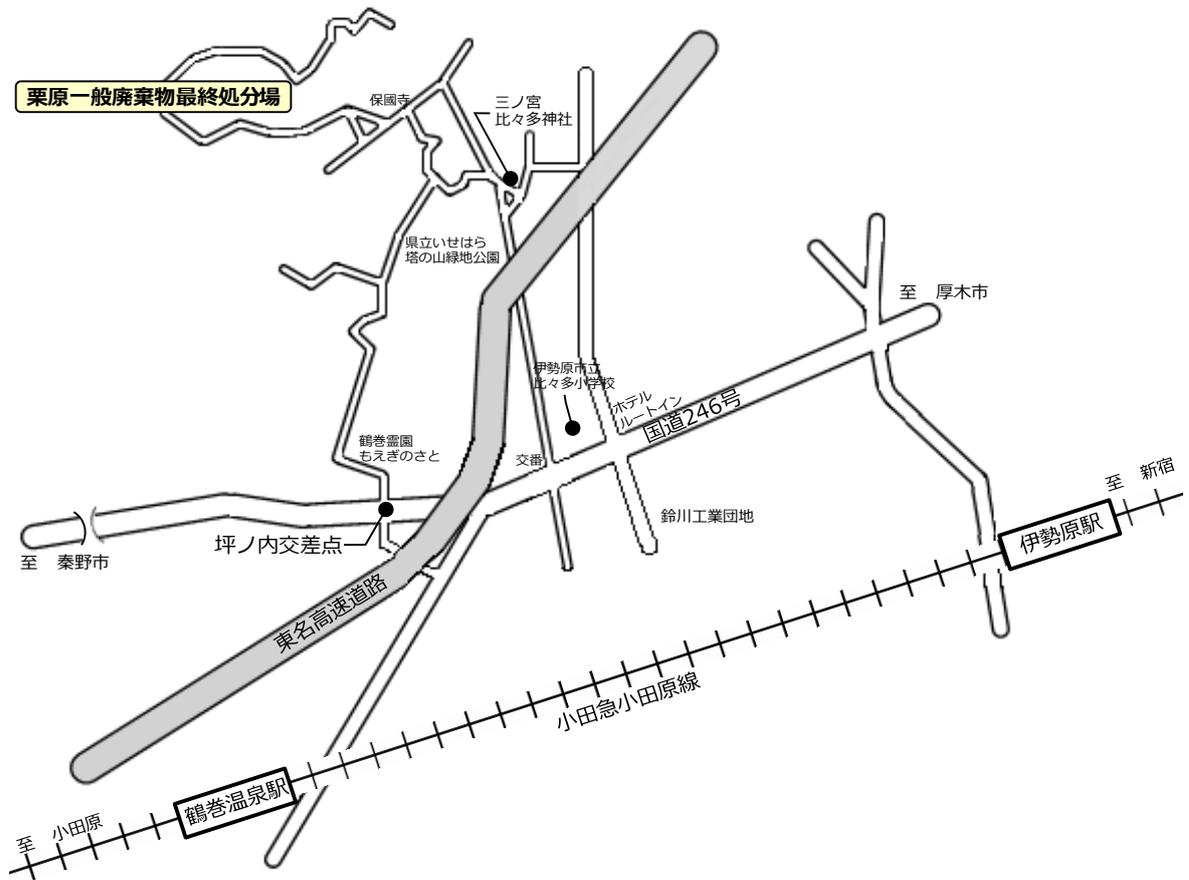
- ➡ 浸出水の流れ
- ➡ 薬剤の流れ
- ➡ 污泥の流れ
- ➡ 処理水の流れ

放流水質
PH (水素イオン濃度) 5 を超え 9 未満
Mn ²⁺ (溶解性マンガン濃度) 1 mg/ℓ 以下
Ca ²⁺ (カルシウムイオン濃度) 100mg/ℓ 以下

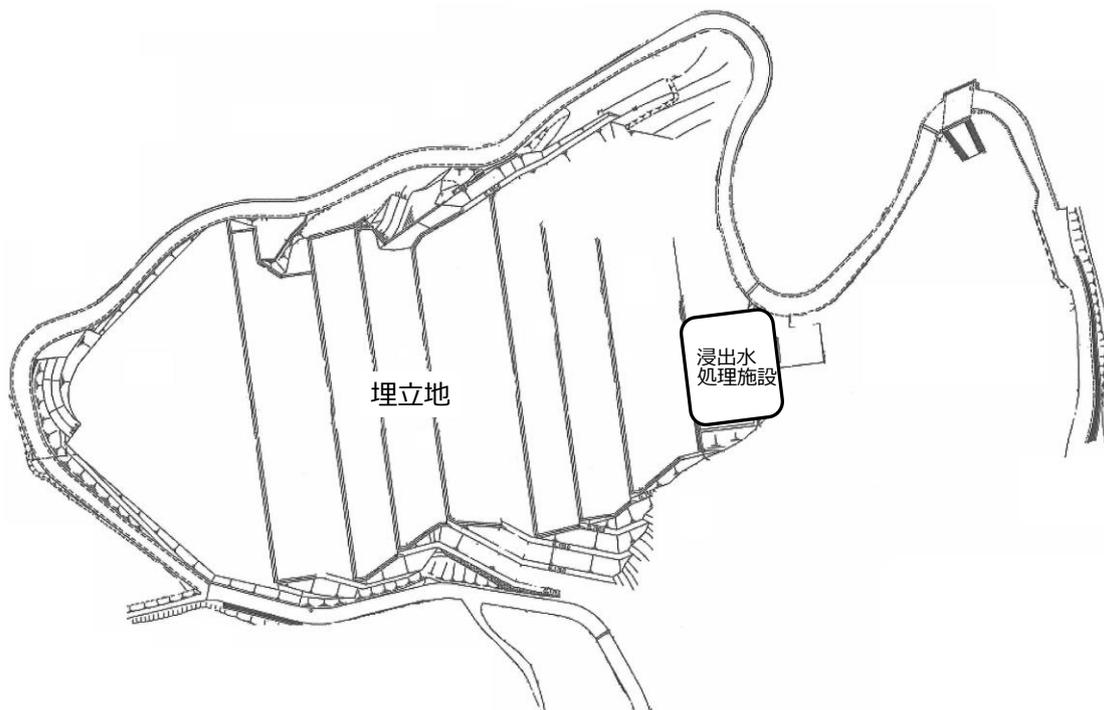
薬剂設備



栗原一般廃棄物最終処分場 位置図



栗原一般廃棄物最終処分場 施設配置図



火 葬 施 設

秦野斎場

所在地 秦野市曾屋1006番地
敷地面積 5,741.22㎡ (登記地積)

秦野斎場は、秦野市及び伊勢原市の火葬業務を行うため、火葬炉7基(別に1基分の予備スペース有)、待合室8室を備え、1日当たり最大16件の火葬が可能な施設です。

また、排ガス処理や災害対策の強化を図ると共に、自然エネルギーを有効に活用した施設となっており、施設の運転や維持管理は、民間事業者へ業務委託しています。

施設整備状況

型 式	事業費 (千円)	整 備 内 容	建設年月日	施 工 者
火葬炉7炉 台車式大型炉 再燃焼炉 主燃焼炉直上型 1炉1再燃焼方式 集じん方式 乾式バグフィルター 4基	1,961,787	増築棟：鉄筋コンクリート造、 鉄骨造混構造2階建て (火葬炉7炉、待合室4室、 告別室4室、収骨室4室、 霊安室、事務室等) 改修棟：鉄筋コンクリート造 平屋建て、内外装を改修 (待合室4室、多目的室) 延べ面積；約3,395.20㎡ (うち増築棟約2,908.07㎡)	火葬炉設備 H28.10.11～ H30.3.22 その他工事 H28.10.11～ H31.3.15	株式会社宮本工業所 (火葬炉設備) コラム・秀和共同企業体 (建築工事) 大野設備工業・キタムラ共同企業体(機械設備) 東洋電装・フリーテム共同企業体(電気設備)

秦野斎場

外観



待合室



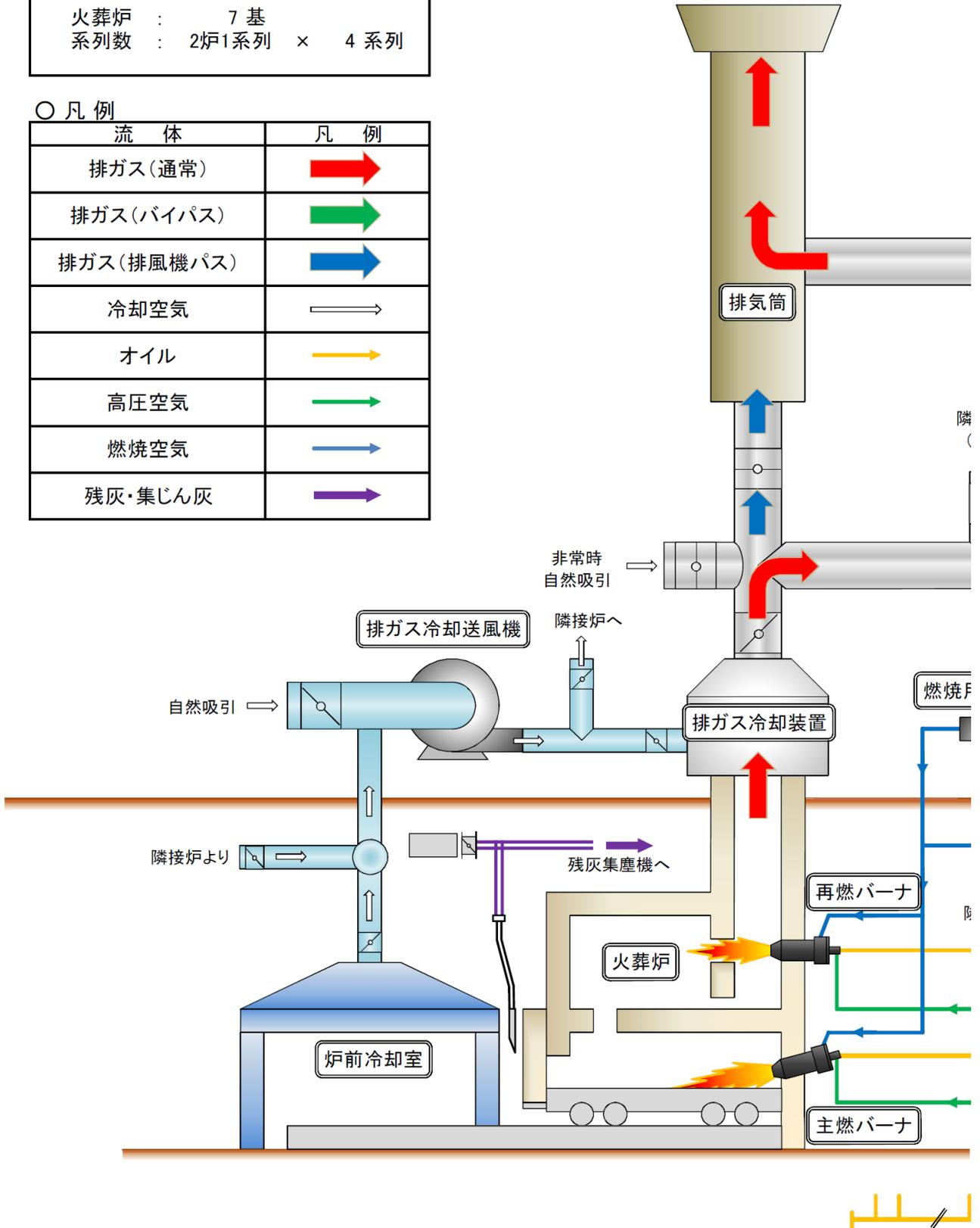
秦野斎場の火葬炉設備フローシート

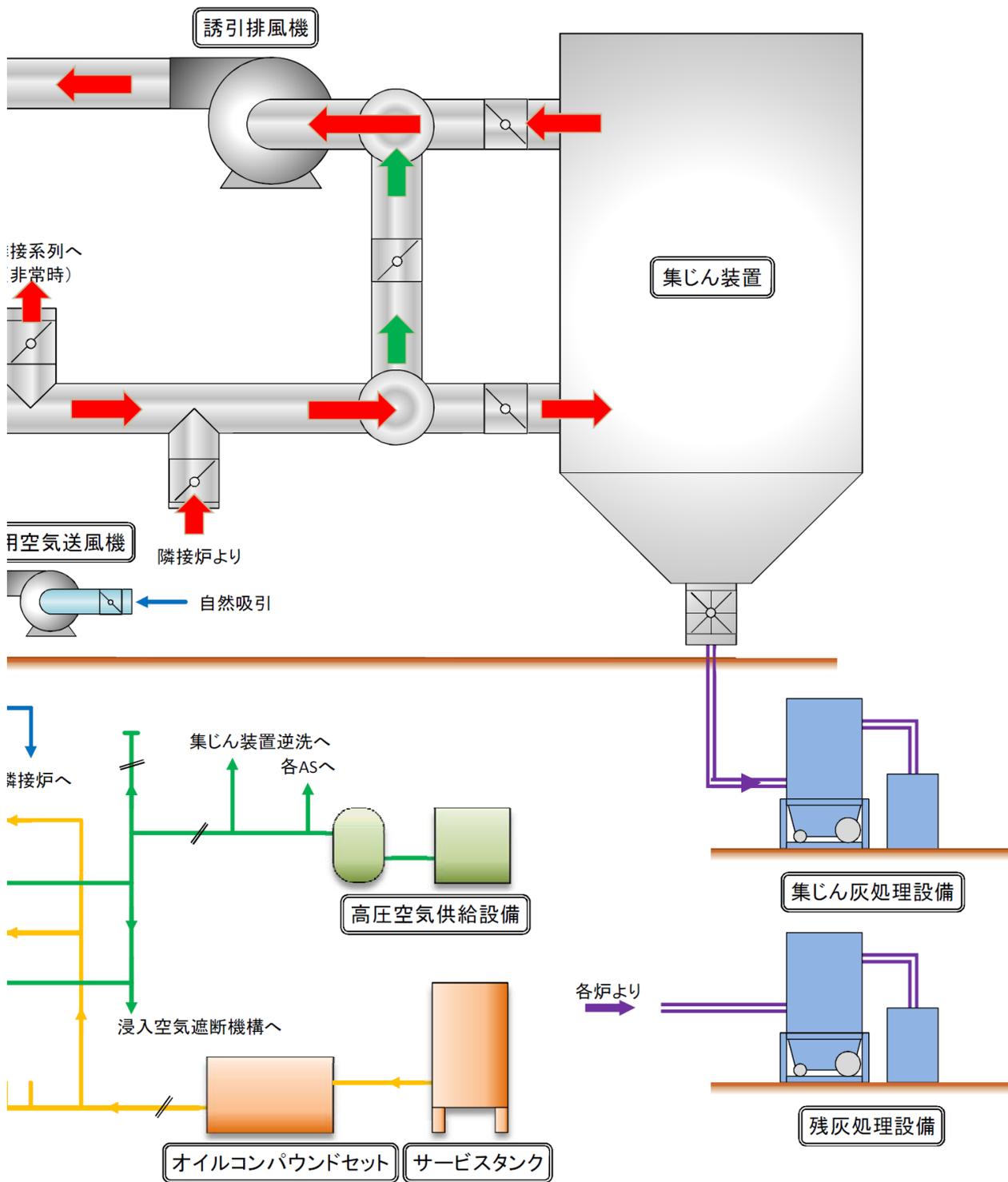
○ 基本事項

火葬炉	: 7基
系列数	: 2炉1系列 × 4系列

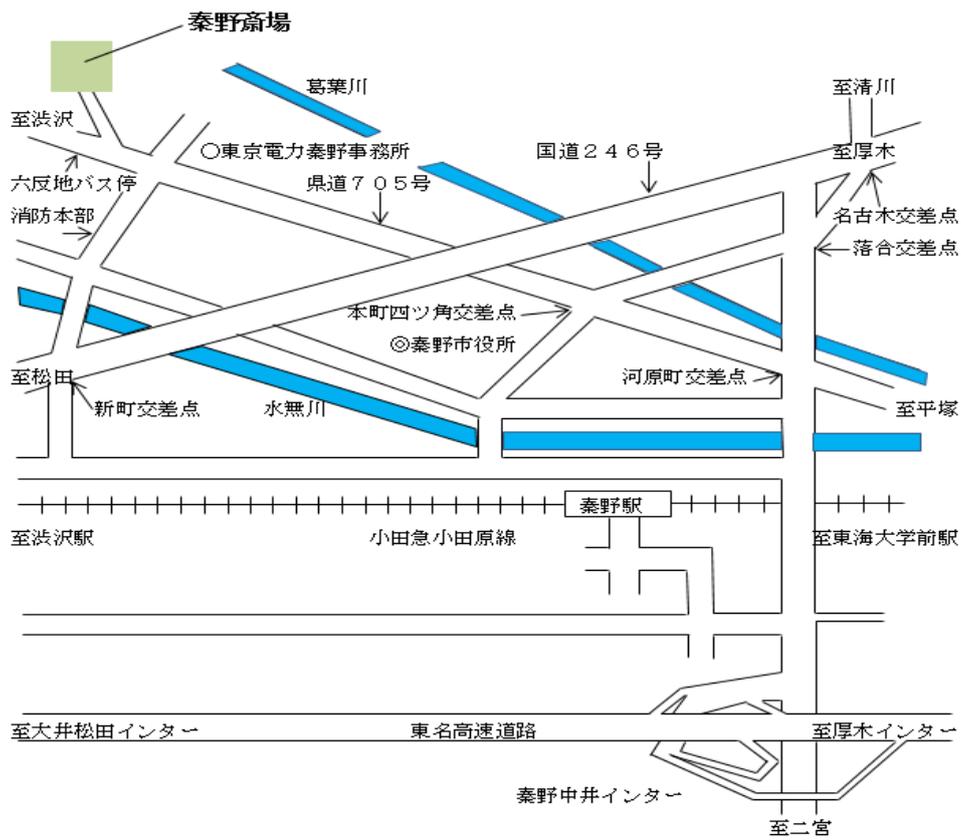
○ 凡例

流体	凡例
排ガス(通常)	
排ガス(バイパス)	
排ガス(排風機パス)	
冷却空気	
オイル	
高圧空気	
燃焼空気	
残灰・集じん灰	

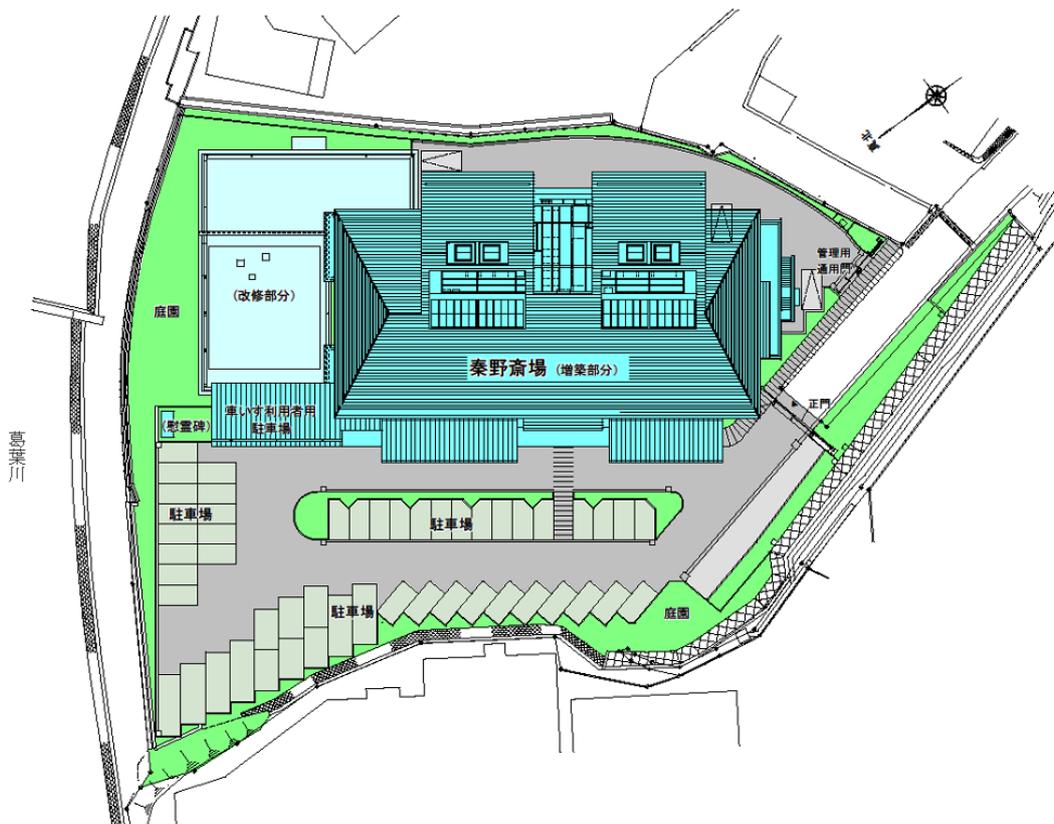




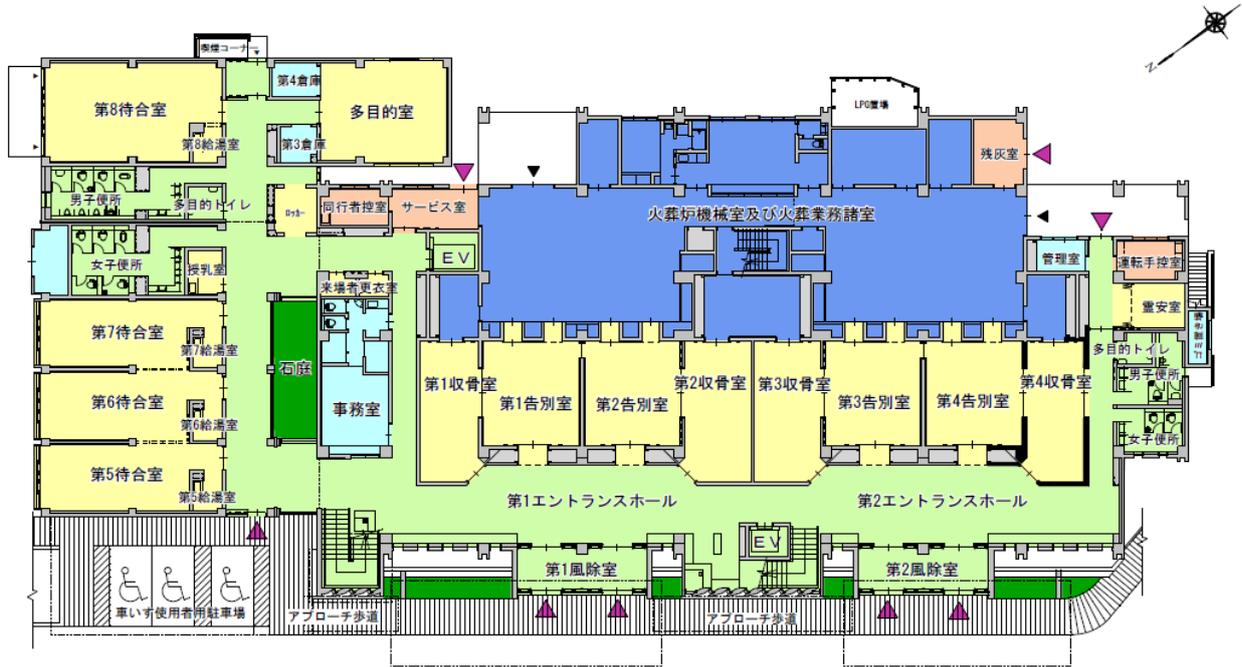
秦野斎場 位置図



秦野斎場 施設配置図



秦野斎場 1階平面図



秦野斎場 2階平面図

